

# Weekly Report

(2013年8月第3週)

光世証券株式会社

## 株式市場概況

### ● 先週（8/5 - 8/9）の動き

火曜日までは日経平均株価は堅調に推移していたが、同日（米国時間）、シカゴ連銀のエバンズ総裁が9月のFOMCで緩和策の縮小が行われるとの発言があり、翌日から株価は下落に転じた。決算内容が好調だった株まで売られるなど、全体的に売りが強まり日経平均は急落した。ドル円も98円台から96円前半まで円高が進んだ。これらの動きは、米国の金融緩和の縮小を見込んでポジションを一旦閉じる動きと見られる。

木曜日に行われた日銀政策決定会合は予想通り現状維持となった。その直後に発表された、中国の貿易収支（7月）は178.2億ドル（予想269億・前月271.2億）、輸出（7月前年比）5.1%（予2%・前-3.1%）、輸入10.9%（予1%・前-0.7%）と中国経済の回復を感じさせる内容となった。日経平均も一時的に中国の貿易収支を好感して上昇する場面もあったが長続きせず、円高の進行と共に株安の展開となった。その晩の欧米の株式市場では、このニュースを懐疑的ながらも好感し、小幅上昇となった。金曜日の日本株は、海外の流れを受け堅調に始まったが、場中は乱高下する展開となり、終値は前日比ほぼ変わらずとなった。週末の日経平均株価は前週末比-5.88%の1万3,615円となった。

セクター動向は全て下落となった。下落上位は決算発表の内容が今一つだった鉱業や精密機器、株価の下落により証券と保険などが入った。下落が比較的緩やかだったのは非鉄金属や水産農林、卸売など決算発表の内容が好感されたものとなった。

スタイルインデックスで最も下げたのは日経平均となった。TOPIXと比較して1.26%下落が大きくなっている。これは、寄与度の高いファーストリテイリングやソフトバンク、精密機器の下落が大きかったことと、東証一部の小型株指数であるTOPIXスモール下落が小さかったことが原因だ。リート指数、東証2部指数の下落率は小さい。

セクター動向(先週末比)		各種国内株式指数動向(先週末比)					
海運	-0.52%	ゴム製品	-8.93%	REIT指数	-0.74%	コア30	-4.66%
非鉄金属	-1.36%	鉱業	-8.68%	東証2部	-0.93%	ミッド400	-4.71%
水産農林	-2.16%	精密機器	-8.28%	TOPIXスモール	-3.10%	TOPIXグロース	-4.76%
卸売業	-2.28%	証券商品先物	-7.07%	TOPIXバリュー	-4.49%	TOPIXL70	-4.95%
空運	-2.49%	小売業	-6.74%	マザーズ	-4.51%	日経平均株価	-5.88%
サービス業	-2.83%	保険	-6.42%	TOPIX	-4.62%		

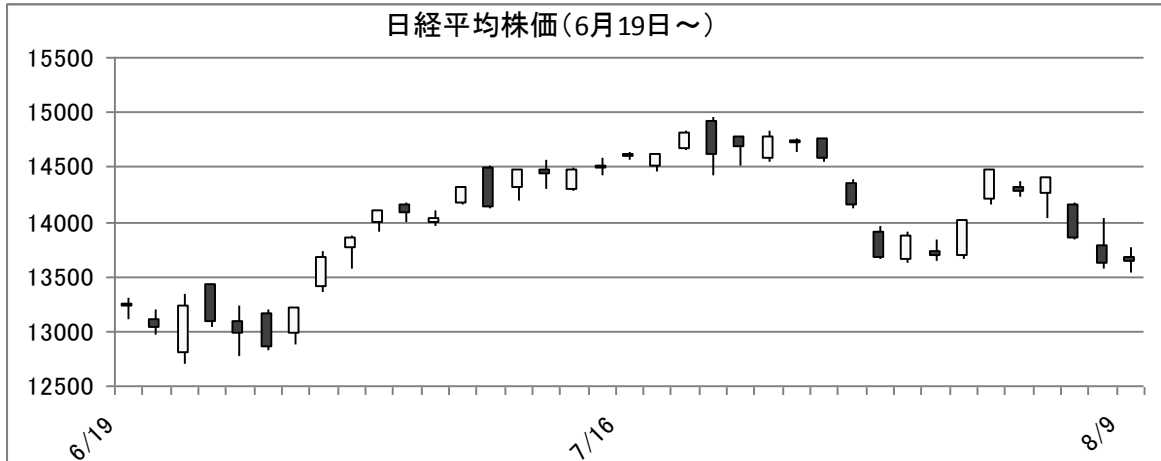
## 今後の注目材料

日経平均は再びここ最近の支持線である100日移動平均線を試す展開となっている。それが維持されれば、為替が円安に向かうタイミングで上昇に転じると考えられるが、為替が円安に振れる材料が今週はないと考えられるため、今週の値動きは支持線付近でのみ合いとなると考えている。

円高が不利である自動車株は強い展開が継続している。決算内容が良かったこともあるが、1997年の消費税引き上げ時の株価動向を調べてみると、自動車株のパフォーマンスは全体が崩

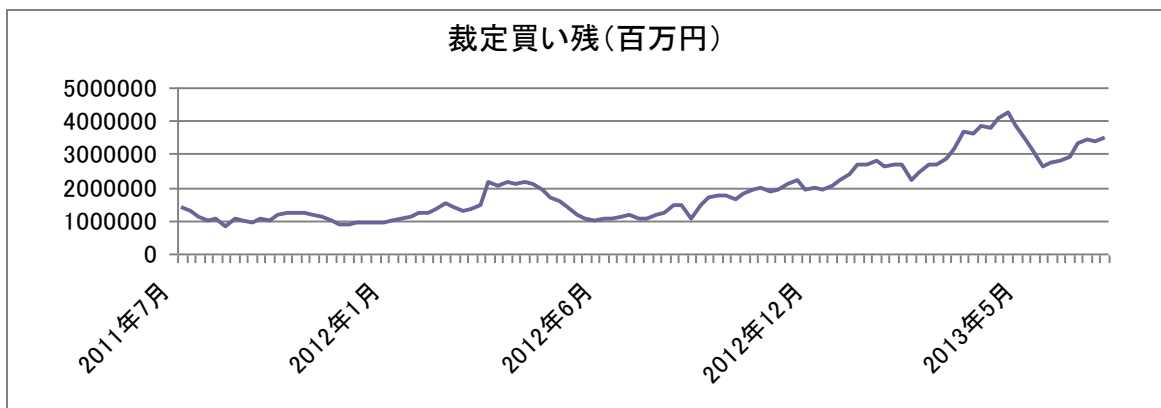
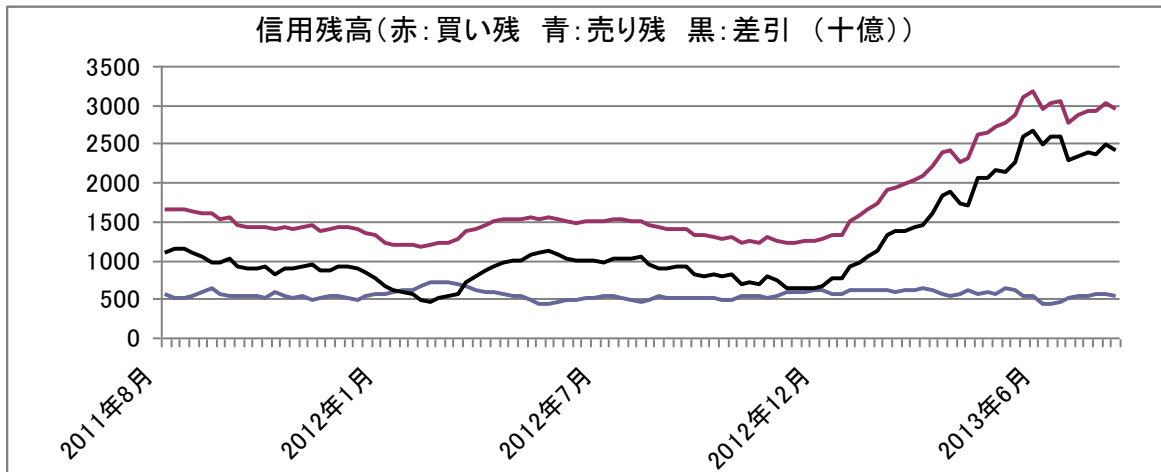
れる中、他のセクターと比較して堅調だったこともあり、先を見据えて選好されているのかもしれない。消費税の引き上げを材料に考えると、海外売上高の大きい企業を買い、内需関連を売ることにより利益が得られる可能性が高い。

今週は市場参加者も少なく、これまで以上に不安定な値動きとなる可能性もある。そのため、現在の値段よりもかなり離れた値段に指値を持っておくも良いだろう。



### 需給動向（前週分）

投資部門別売買動向は個人、海外投資家が共に売り越しとなった。買いは投資信託、金融機関、事業法人、信託銀行と珍しい面子となった。信用買い残高は減少、裁定買い残高は増加となった。



	自己	委託	投資信託	事業法人	信託銀行	個人	海外投資家
2013/8/2	-72.99	93.13	98.84	33.15	88.82	-116.92	-20.47
2013/7/26	17.15	-8.30	10.56	4.28	-71.59	84.71	-50.98
2013/7/19	207.71	-200.03	-17.35	81.47	-58.43	-324.43	251.39
2013/7/12	27.22	-16.78	-23.33	-18.13	-83.89	-215.41	332.13
2013/7/5	-17.46	19.80	10.52	-12.16	-38.82	-322.40	430.06
2013/6/28	-26.73	62.70	48.27	-28.33	84.37	-440.42	415.13
2013/6/21	11.26	-24.18	20.46	8.01	-8.89	-105.68	48.72

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号  
加入協会／日本証券業協会